

第 14 回 ISMSJ 学術集会の特別講演は
ブリティッシュ・コロンビア大学歯学部の
Fernanda Almeida 先生です



第 14 回 ISMSJ 学術集会の特別講演では、カナダのブリティッシュ・コロンビア大学(UBC) 歯学部の Prof. Fernanda Almeida をお招きし、顎顔面形態と小児 OSA の関係、および成人 OSA に対する OA 治療について最新の知見をお話いただきます。2019 年に UBC のあるバンクーバーで開催された World Sleep において、顔面形態分析の専門家である Almeida 先生がお話されたこれまでの小児の OSA の常識を覆すようなご発表に感銘を受けたことをきっかけに、ISMSJ の学術集会にお招きすることといたしました。

UBC の歯学部は SDB 研究、特に骨格の形態分析や口腔内装置治療に関する研究においてメッカのような教室で、歯科の関わる SDB 論文には必ずと言っていいほどこの教室からの論文が引用されています。Klearway という口腔内装置を開発した Alan Lowe 先生の元に多くの日本人の先生が留学しておられ、日本の睡眠歯科研究の大きな礎となっています。Almeida 先生も Alan Lowe 先生の教室に留学され、学位を取られたのち、今日まで UBC を拠点に精力的に研究を続けておられます。同研究室から 80 編以上の論文を出されていますが、その中には日本人歯科の先生との共著論文が多く含まれています。またその明るくオープンな人柄で人脈も広く、数々の国際共同研究を企画し、実際に新しい知見を継続的に発表されています。

国際学会への参加がコロナ禍前までには戻っていない現在、昨年引き続き海外から演者の先生をお招きし、直にお話をする貴重な機会を企画することができました。Almeida 先生はとても気さくで、我々日本人の話す英語にも慣れておられる先生ですので、この機会に積極的に交流していただきたいと思います。初日の 10 月 5 日（金）の懇親会（梅田スカイビル 22F）にも Almeida 先生にお越しいただくこととなっております。是非とも皆さまにも第 14 回 ISMSJ 学術集会の現地に足をお運びいただき、久々に対面で語り合っていただきたいと願っております。

第 14 回 ISMSJ 学術集会 組織委員長 鈴木 雅明